

(参考様式6)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	牛渕地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛媛県 愛媛県東温市	380008	2	平成26年度～ 平成28年度	平成26年度～ 平成29年度
活性化計画の区域				
牛渕地区活性化計画は、愛媛県東温市牛渕地区の113.7haを計画区域とする。 うち事業活用活性化計画目標設定地区：1地区 (1) 牛渕東地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する 農業用排水施設等の機能 の確保	5.9ha	5.7ha	96.6%	

(コメント)

事業は概ね完了し、条件整備された農地による生産性の向上が見込まれることから、目標はほぼ達成された。
平成28年度より農山漁村地域整備交付金の農業基盤整備促進事業、平成29年度は農地耕作条件改善事業にて整備を行っている。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
区画整理	区画整理 A=5.7ha			東温市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
東温市	H26年度	H29年度(予定)	H30年4月1日(予定)	
事業の効果				
農業従事者の定住化の促進を目標とした本事業において、ほ場・用排水路・農道等の農業生産基盤の整備により農業用施設の機能が確保された。これが農業従事者の労力軽減や維持管理費のコスト縮減に繋がり生産意欲が向上したことから、農業従事者の流出が食い止められた。				

3 総合評価

(コメント)

当地域は、都市近郊という立地条件から営農継続意欲の減退や農家の担い手不足が深刻化している。ほ場整備地区では、区画が狭小不整形なうえ農道・水路の整備状況が悪いため機械の大型化や農用地の集積が阻害されていた。さらに適正な水管理が困難なことにより維持管理費や労力が嵩み営農意欲の低下がみられていた。

今回、ほ場整備による農業生産基盤の整備により農業機械の大型化や農用地の集積、適正な水管理が可能となり維持管理費と労力の大幅な軽減が図られ営農条件が大きく改善され効率化が図られた。

このことから、衰退傾向にあった営農意欲が向上し安定した営農経営が確保されたことから、認定農業者が維持されており定住の促進について一定の効果が見られた。

4 第三者の意見

(コメント)

牛淵東地区では、ほ場整備事業により営農条件が大きく改善され地域の営農意欲が高まっていることは評価できる。

営農意欲の向上と維持管理労力の低減が農業者の定住化に繋がり、認定農業者が維持できていることから地域の活性化が図られたと考えられる。